

平成 29 年度 事業報告書

自平成 29 年 4 月 1 日
至平成 30 年 3 月 31 日

I. 会務報告

(1) 通常総会 (2017 年 5 月 31 日 於 : TKP スターホテル会議室根津) を開催。

下記の議案が承認された。

第 1 号議案 : 平成 28 年度事業報告

第 2 号議案 : 平成 28 年度収支決算報告

第 3 号議案 : 平成 28 年度監査報告

第 4 号議案 : 平成 29 年度事業計画

第 5 号議案 : 平成 29 年度収支予算計画

(2) 監査を下記期日に開催した。

2017 年 5 月 29 日 日本保全学会会議室

(3) 理事会 4 回を下記期日に開催した。(メール審議を含む)

第 1 回 2017 年 5 月 29 日 日本保全学会会議室

メール審議 2017 年 7 月 7 日

第 2 回 2017 年 12 月 19 日 日本保全学会会議室

第 3 回 2018 年 3 月 29 日 日本保全学会会議室

(4) 企画運営委員会 5 回を下記期日に開催した。(メール審議を含む)

第 1 回 2017 年 5 月 26 日 日本保全学会会議室

第 2 回 2017 年 9 月 27 日 日本保全学会会議室

メール審議 2017 年 12 月 7 日

第 3 回 2017 年 12 月 19 日 日本保全学会会議室

第 4 回 2018 年 3 月 22 日 日本保全学会会議室

(5) 編集委員会 4 回を下記期日に開催した。

第 1 回 2017 年 5 月 16 日 日本保全学会会議室

第 2 回 2017 年 8 月 21 日 日本保全学会会議室

第 3 回 2017 年 11 月 14 日 日本保全学会会議室

第 4 回 2018 年 2 月 13 日 日本保全学会会議室

(6) 財務委員会 2 回を下記期日に開催した。

第 1 回 2017 年 5 月 25 日 日本保全学会会議室

第 2 回 2018 年 3 月 20 日 日本保全学会会議室

(つづく)

II. 事業報告

(1) 会誌等の刊行

下記の会誌、予稿集を刊行した。

- ・日本保全学会誌『保全学』Vol. 16-1, Vol. 16-2, Vol. 16-3, Vol. 16-4
- ・日本保全学会 第14回学術講演会要旨集
- ・JSM SEM 018 第18回保全セミナー予稿集
- ・EJAM Vol. 9-1, Vol. 9-2, Vol. 9-3, Vol. 9-4
- ・状態監視技術便り Vol. 10-1, Vol. 10-2, Vol. 10-3

下記の報告書を発行した。

- ・JSM CPM 002 原子力発電所の保全情報等に関する調査
- ・JSM EFR 002 高速炉冷却材バウンダリ破損に関するレジリエンス評価
- ・JSM MAD 001 原子力発電所の保全情報等に係る調査委託

(2) 学術的会合（主催*、共催**）

- ・第14回学術講演会*

(2017年8月2~4日 ひめぎんホール（愛媛県松山市）)

- ・第8回保全科学サマースクール**

(2017年7月30日~8月4日 東北大学（日本・仙台）)

- ・ISEM 2017**

(2017年9月3日~9月6日 Chamonix-Mont-Blanc (フランス))

- ・ENDE2017**

(2017年9月6日~9月8日 Saclay (フランス))

- ・第18回保全セミナー「原子力発電所の更なる安全性向上及び検査制度の大改革に向けて」*

(2018年2月14日 於：東京大学・武田ホール)

(3) 研究調査活動

- ・会費制による分科会

1. 回転機器の状態監視技術高度化に関する調査検討」分科会 (CMT分科会)

- ・自主研究による検討会

1. 原子力安全規制関連検討会

2. 保全標準化推進検討会

3. 事故・故障事例検討会

4. 核融合中性子の高度利用による消滅処理検討委員会

5. 原子力保全ハンドブック検討会

(つづく)

III. 会員現況(2018年3月31日現在)

(一社) 正会員 510名 学生会員 24名

<2017年4月1日～2018年3月31日の入退会者>

正会員入会者 55名 学生会員 9名

正会員退会者 29名 学生会員 2名

(一社) 法人会員 57社(93口)

<2017年4月1日～2018年3月31日の入退会者>

入会 1社 (北陸発電工事株式会社)

退会 1社 (株式会社 IHI)

以上